
短編集

琴乃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短編集

【Nコード】

N1836J

【作者名】

琴乃

【あらすじ】

季節などをテーマに、主に恋愛系の物語を綴っていきます。

1つのテーマで大体3話に分かれています。

現代やファンタジーなど、まちまちです。

何かリクエストがあったら、感想と添えて送ってもらえると有り難いです。

夏休みの思い出―夏1―

夏になると思いだす。

夏休みの間だけの、友達を―。

俺は神崎裕也^{かんざきゆうや}。私立の男子校の高校1年生だ。

周りは男ばかりで、しかもこの学校は中高一貫校、全寮制のため、女子を最近お目にかかれない悲しい一男子生徒だ。

まあ、女子ってぶりっこや醜い嫉妬など影の部分もあるから理想を崩さずに生きてこれてある意味良いけど。

7月16日。

第2回目定期考査最後の日本史が終了した三時間目。

一番後ろの席ではないため答案用紙を集めることは無かったので、忙しい教師たちの誤りをそのまま印刷してしまった問題用紙の裏にちよっとした落書きを書きながら、上記の思いに耽っていた。すると、

「裕也！もうテスト終わったぜ」

「提出のノート出すぞ」

と俺の首に腕をまわした倉田蓮^{くらたれん}と提出物の日本史用のノートを持った吉倉涼^{よしくらりょう}がいた。

2人共俺が中2の時にできたダチで、無邪気で身長の低い（おまけに童顔）蓮と背が高く成績が良い黒縁眼鏡の涼は俺と同じ卓球部だ。

蓮の腕を解きつつ、後方にある学生鞆の中から日本史のノートを取り出す。

変な落書きがあるかパラパラと頁^{ページ}を捲ると、美術の時間、下書きと

して描いたの絵があった。

昔から周りの男子より絵を描くセンスが良かった俺は、今でも時間があると机に向かい白紙の前にいる事が多いのだ。

女々しい奴だと俺は思うのだが、周りは凄いと称賛しているし、少年漫画誌で執筆しているのは殆ど男性なので、まあ良しとする。

兎も角、落書きは消さないと不味いだろう。

カンニング防止のために同じく学生鞆に入れられた筆入れを取り出し、その中から消しゴムを探し手に持つと、俺は周りの板書した字が消えない様に、落書きを消しだした。

時間が経つと、消えにくいものなのか多少顔の形が残ったものの大部分は消せたので良しとする。

そして、提出物を集める係員の方へ蓮と涼と共に進んだ。

夏休みの思い出―夏1―（後書き）

とても間が開いてしまうと思われますが、よろしければどうぞお付き合ってください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1836j/>

短編集

2011年1月15日22時04分発行